

長野と新潟の  
大学・高専学生参加者募集

日本の大河の環境を、一緒に、考えてみませんか

# 第1回信濃川・環境大河塾ツアー

信濃川は、長野県から新潟県を流れ、日本海へ注ぎ、長さ367km、流域面積11,900km<sup>2</sup>、年間流量約160億m<sup>3</sup>を有する、日本を代表する大河です

ジンギスカン料理(昼食) 自家製こしひかり(夕食) 温泉の外湯めぐり の魅力付き

日時:平成22年8月19日(木)~20日(金)

参加費:¥6,000円(1泊2日4食付)

締切り 8月5日

宿泊地:野沢温泉村 やすらぎの宿 白樺

募集数:30名(ツアー開催の最少参加者数両県合わせて10名)

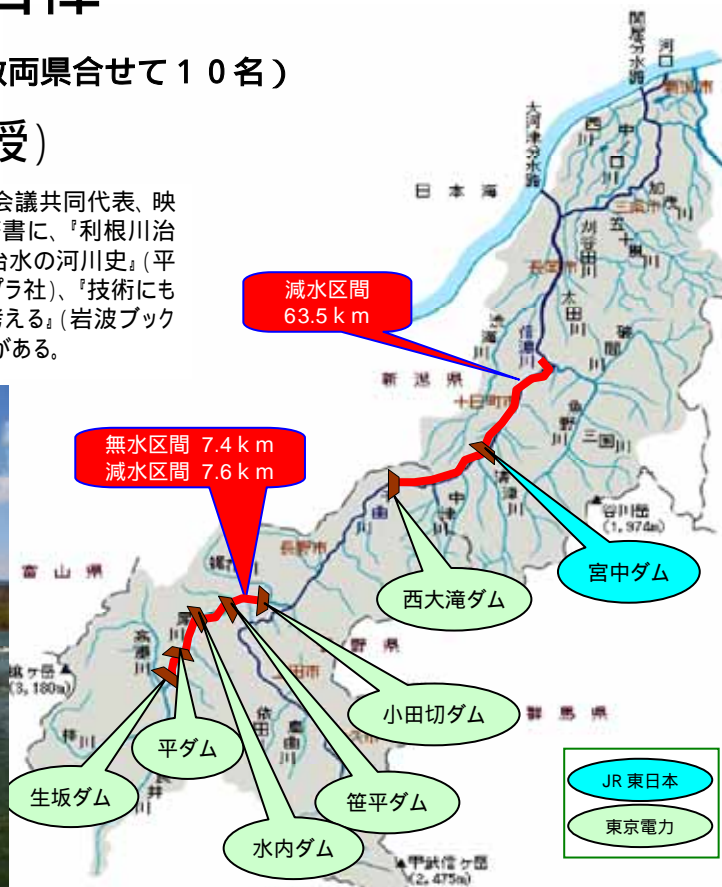
講師:大熊 孝(新潟大学名誉教授)



NPO 法人新潟水辺の会代表、水郷水都全国会議共同代表、映画『阿賀に生きる』制作などに取り組む。主な著書に、『利根川治水の変遷と水害』(東京大学出版会)、『洪水と治水の河川史』(平凡社)、『川がつくった川、人がつくった川』(ポプラ社)、『技術にも自治がある』(農文協)、共著に『日本のダムを考える』(岩波ブックレット)、『ローカルな思想を創る』(農文協)などがある。



水利権停止で、一時的に水量豊かな姿が戻っている信濃川  
2009年にはラフティングツアー下りが行なわれた。



主催 NPO 法人 新潟水辺の会

この事業は三井物産環境基金事務局の助成を受けて実施します

お問合せ先 新潟県 新潟水辺の会 加藤 功 電話 025-230-3910 E-mail ecoline@mvd.biglobe.ne.jp

” 長野県 上小漁業協同組合 春原 昌明 電話 0268-22-0813 E-mail josyogyokyo@po6.ueda.ne.jp

# 第1回信濃川・環境大河塾ツアー

信濃川は、長野県から新潟県を流れ、日本海へ注ぎ、長さ367km、流域面積11,900km<sup>2</sup>、年間流量約160億m<sup>3</sup>を有する、日本を代表する大河です。1930年代に始まった国策の電源開発事業によってダムや発電所が作られ信濃川の流量が減っていくと、信濃川・千曲川は一変。

松本から流れてくる支川の犀川では、発電による取水のためにダム直下に洪水時以外は一滴の水も流れない無水区間(7.4km)と減水区間(7.4km)に、信濃川中流域では、西大滝ダム(東京電力)から宮中ダム(JR 東日本)を経て小千谷発電所までの63.5kmには大河とは程遠い減水区間に、それぞれ変貌しています。

その結果、鮭などの魚類の遡上・降下が断たれ、水生生物の気配がなく、人との関係の無い川になっています。JR 東日本による発電は首都圏の電車を動かしていますが、信濃川沿いの JR 飯山線ははまだ電化されていません。このことを知る人は首都圏にはほとんどいないという状況です。

この信濃川・千曲川・犀川の現場で、日本の大河の現状を自らの目と身体で実感してもらい、魚が棲み、水生植物が茂り、人との関係性の深い、本来の「川らしい川とは何なのか」を考えるツアーです。大河の環境について一緒に考えてみましょう。

## 1日目(8月19日/木)

新潟駅(南口) 集合 am6:40 出発 7:00 大型バスで長野へ向かう  
北陸自動車道経由 新潟西 IC ~ (米山 PA10分休憩) ~ 須坂長野東 IC  
新潟平野の生い立ち(千曲川、信濃川の生い立ち)などビデオ鑑賞と車内トーク  
長野駅前 集合 am9:25 出発 9:45 新潟からの大型バスに合流

小田切ダム見学 笹平ダム 水内ダム 昼食(ジンギスカン料理)  
ダムと川の間をじっくりと見てください  
平ダム 生坂ダム 長野自動車道 17:30 野沢温泉村  
宿泊は、やすらぎの宿「白樺」です。自家製こしひかりを存分に食べた後の夜は、  
野沢温泉の外湯、13湯めぐりをゆっくりと楽しんでください

## 2日目(8月20日/金)

大河塾ワークショップ  
異論・反論・対論 「あなたが大臣なら、日本の大河復活をどうする？」  
野沢温泉村 やすらぎの宿 白樺 食堂にて  
西大滝ダム 信濃川発電所 宮中ダム  
長野からの参加者は、越後田沢駅から電車で長野駅へ(乗車券は主催者が負担)  
新潟からの参加者は、宮中ダムから大型バスで移動 新潟駅着 18:20 (解散)

## 第1回信濃川・環境大河塾ツアー 参加申込書 (締切 8月5日)

この表を 025-264-3260 に FAX するか、下記の問い合わせ先へ同内容をメールしてください。

フリガナ 氏名		住所	〒		
所属 研究室など		電話		携帯	
		E-mail			

新潟県や長野県以外からの参加希望者は、長野駅や新潟駅などへの往復交通費は自己負担となります。  
主催側でレクリエーション保険をかけています  
いただいた個人情報、本シンポに関わる名簿整理の他には使用いたしません  
この事業は三井物産環境基金の助成を受けています

お問合せ先 新潟県 新潟水辺の会 加藤 功 電話 025-230-3910 E-mail ecoline@mvd.biglobe.ne.jp  
" 長野県 上小漁業協同組合 春原 昌明 電話 0268-22-0813 E-mail josyogyokyo@po6.ueda.ne.jp